

戦略的な遠方銀河研究へ向けて—大型地上/宇宙望遠鏡プロジェクトに繋がる
A16a すばる広視野サーベイとは？

大内正己（カーネギー）

2010年代に取り組むべき銀河形成と宇宙再電離の問題を提示し、遠方銀河研究のフロンティアがどこへ向かおうとしているのかを議論する。さらに、JWSTをはじめとする世界の大型プロジェクトの中で、日本などが開発・検討中のすばる次世代装置 (FMOS, HSC, WFMOS) と大型地上/宇宙望遠鏡計画 (TMT, SPICA) がどのような位置づけにあるかを概観する。銀河形成と宇宙再電離に残された問題を解決するには、どのように次世代装置、望遠鏡の観測を有機的に繋げ、連携を図るべきなのかを考えたい。具体的には、2010年代前半から始まるすばる次世代装置の広領域サーベイが、その後にファーストライトを迎える大型地上/宇宙望遠鏡に対して、魅力あるサイエンスやターゲット天体を供給できる点について注目して、以下のような議論をコミュニティに促したい。

- 1) プロジェクト間のシナジーを最大化するためのすばる次世代広領域サーベイはどのようなものか？
- 2) 2010年代前半から後半までシームレスに遠方銀河研究を行うにあたっての問題点は何なのか？